

「第6次佐倉市スポーツ推進計画(案)」に寄せられた意見と市の考え方について

No.	No.意見	受付日	該当箇所	提出された意見の内容 ※原文のまま掲載しております	対応案	意見に対する考え方
1	1	3月12日		<p>市民がノルディック・ウォークに親しみ、生活習慣にする街づくりを有志で検討していますので、応援をお願いしたい。</p> <p>1. 取り巻く環境と問題意識 (1)健康寿命の伸長と健康志向の高まりにより、平素からの生活におりこめる気軽に楽しめる運動習慣が求められる。 (2)昨今のコロナ事情を踏まえ就業層も在宅比率が上がリタイヤ層の外出も減り運動不足解消、フレイルや認知症の予防についての重要性が増しており、人が動かないことにより飲食店等を中心に経済も深刻化している。 (3)後記ノルディック・ウォーク、ポール・ウォークと言われるアクティビティは一部では注目されているものの、まだ一般化しておらず、スポーツイベントやシニア層で集まってるの周期的活動ではなく個人が生活習慣で歩くレベルには定着していない(一人で歩くには気恥ずかしい、という声もある)。</p> <p>2. ノルディック・ウォークとは (1)ノルディック・ウォークはEU諸国で最も早く高齢化が進んだと言われ、かつ社会福祉先進国であるフィンランドを発祥としていて、膝やかかとへの負担も少ない一方で肩甲骨を含む上半身もバランスよく動かすことで全身の約90%を使うと言われる。 (2)ニーズに合わせて負荷を調整でき、両領域を隙間なくご案内できる。 ①スポーツ性の高いアクティブ・ウォーク ②シニア層にも安全でバランスよく運動していただけるディフェンシブ・ウォーク (3)無理なくはじめられ効率的に運動効果があり、フレイルや認知症予防効果が報告されている。</p> <p>3. 現在の活動と今後の構想 (1)シニア層を中心に各地で始まり一部では既に定着しつつあるポール・ウォーク活動は、当連盟(千葉県連)からも引き続き指導員を出しリーダー養成等で引き続き全面バックアップする。 (2)一方でアクティブシニアを含む幅広い層を対象に、よりスポーツ性の高いアクティブ・ウォークもユーカリが丘を中心に広める活動を検討中。 (3)飲食・サービス業の店舗では、ポール持ったお客様を受け入れていただき、その環境を作り、ポールのレンタルや販売も委託する展開など。 (4)平素からポールを持って歩く環境と街の活性化の両立を図る事業で、商店連合会にも注目いただいている。</p> <p>4. 現在計画中の企画案 (1)4月29日(昭和の日)ユーカリが丘商店連合会主催の「緑のまつり」に参画。 (2)ディフェンシブ層(ポールウォーク層)は勿論、子供も含むアクティブ層にも志津コミュニティセンターでアピール。 (3)当連盟の県連指導員の応援により、センター前面の南公園で体験ウォークを実施。 (4)また希望者を募り小竹城跡地を含むコースによる単距離ウォークツアーも実施。コース中に竹林を通過し、これも検討が本格化するSDGs竹炭プロジェクトを知っていただく機会とする。 (5)上記のどの形でもご参画いただいた方に感想やアンケートをいただき、この事業のスタートにしたいというもの。</p>	無	<p>いただいたご意見が、個別具体的な内容であるため貴重な意見として、今後のスポーツ推進施策への参考とさせていただきます。</p> <p>また、佐倉市としては毎年開催している「スポーツフェスティバル」などのイベントの際に、ノルディック・ウォークを紹介できる場の提供は可能であると考えております。</p>